

身近な命を

救うために

〜AEDを正しく理解しよう〜



9月9日はその数字にちなんで「救急の日」ということをみなさんご存じですか？

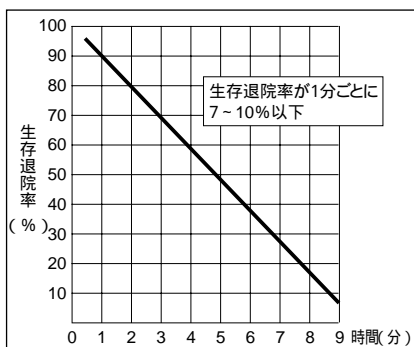
ここ数年、救急に対する技術や意識が大幅に進歩し、平成16年7月には、医療資格を持たない一般の方々が除細動（心臓に電気ショック）を行うことができるようになりました。それに伴って、駅や公共施設などへのAED（自動体外式除細動器）の設置台数も増加してきています。

町内においても、この8月1日から中学校に設置され、来年には小学校にも設置を予定するなど認知度も高まってきています。

心筋梗塞などで突然倒れた場合、心臓のリズムは心室細動と呼ばれる致死的な不整脈のことが多く、除細動を実施するまでの時間が1分遅れるごとに、生存退院率が7〜10%も低下してしまつたため、

一刻も早いAEDの活用が求められます。（図参照）

そこで今回は、いざというときにあてないよう、心肺蘇生法の改正とAEDについて説明します。



心室細動：心臓の筋肉が不規則的でブルブルと震えており、心臓がポンプの役割を果たさず、全身に血液を送ることができない状態をいいます。

生存退院率：院外心肺停止例のうち、病院から生存、退院できた症例の割合をいいます。

心肺蘇生法の改正

心臓マッサージを重視した心肺蘇生法について国際的なガイドラインが2005年11月に改訂されました。これは5年ぶりのこととなります。日本でもこれに基づき2006年6月、「日本版救急蘇生ガイドライン」が作成されました。主なポイントは次のとおりです。



心肺蘇生法(成人) (ガイドライン2000から2005へ)

(変更前)

- 人工呼吸 1回 2秒
- 循環のサインを見る
- 心臓マッサージの位置確認
- 心臓マッサージ15回
- 15：2の割合で心肺蘇生法を4サイクル実施
- 除細動は連続3回 (適応な場合)
- 心肺蘇生法の効果確認は1分後

(変更後)

- 人工呼吸 1回 1秒
- 循環のサインは見ない
- 心臓マッサージの位置は目視にて
- 心臓マッサージ30回
- 30：2の割合で心肺蘇生法を5サイクル実施
- 除細動は1回 (即心臓マッサージ)
- 心肺蘇生法の効果確認はなし (AEDのメッセージに従う)

2005のポイント

- 1 胸の真ん中を押す (乳頭と乳頭を結ぶ真ん中)
- 2 強く押す (胸が4～5cm程度沈み込む力)
- 3 速く押す (1分間に100回のリズム)
- 4 絶え間なく (30回連続に)
- 5 胸の圧迫をしっかり戻す

町消防本部からお知らせ

危険物取扱者・消防設備士免状をお持ちの皆様へ
危険物取扱者免状と消防設備士免状にはってある写真は、10年に1回はり替えが必要となりますので、現在お持ちの免状の期限をお確かめください。

なお、書換え手続きが必要な場合は、申請書を消防本部(署)で配布しています。

消防本部 722-81

危険物取扱者試験

試験日 10月28日(日)

種類 全種類

試験会場 東京国際大学(川越市)

受付期間 9月20日(木)～10月1日(月)

受付方法 右記期間中に、(財)消防試験研究センター(埼玉県支部へ願書を直接持参または郵送)

受験案内、願書は消防本部にて配布します。

危険物取扱者試験準備講習

期日 10月18日(木)・19日(金)

心肺蘇生法(成人:8歳以上)と AED使用方法

写真からは、手順が複雑そうにみえますが、AEDにはガイダンス機能がついていますので、説明に従えばだれでも扱うことが可能です。身近な命を救うために、ぜひ、みなさんもAEDの知識を活用していただければと思います。



周囲の安全確認と感染予防
「安全確認、周囲の確認よし。」



心肺蘇生法継続
胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を継続して実施する。



意識の確認
「わかりますか、わかりますか・・・」



AED到着
「あなたAED使えますか?」「私が押しているように胸を押してください」心肺蘇生法は極力継続する



119番とAEDを依頼
「だれか来てください。意識がない人が倒れています。119番通報とAEDを持ってきてください。」



AED基本操作
電源ON・パットをはる(コネクターを差し込む)
【パットをはる時の注意点】
・体がぬれている場合は十分にふく
・貼付薬がはってある場合ははがす
・ペースメーカーがある場合は約3cm離しパットをはる
・胸毛が濃い場合はそるかパットをはがして除去し新しいパットをはる



気道確保・呼吸の確認
「気道確保」頭部後屈顎先拳上法「呼吸の確認」見て・聞いて・感じて・4・5・6」「呼吸なし」



自動解析
音声ガイダンスあり、患者に触れないよう支持する。「解析します。離れてください。」心肺蘇生法中断



人工呼吸2回吹き込む
(1回1秒)胸が軽く上がる程度
人工呼吸が不可能な場合は省略できる。



胸骨圧迫開始
「1・2・3・4・5・・・30」乳頭と乳頭を結んだ中心を1分間に100回の速さで4~5cm沈み込む強さで圧迫する。胸骨圧迫をしっかり戻す。



ショックボタンを押す
音声ガイダンスあり、「ショックをかけます。離れてください。」患者にだれも触れていないことを確認しながらショックボタンを押す。



人工呼吸2回吹き込む
(1回1秒)胸が軽く上がる程度



心肺蘇生法を再開
ショック後、速やかに胸骨圧迫を開始し、心肺蘇生法を継続する。(30:2)

《胸骨圧迫実施者の交代》
有効な胸骨圧迫を継続するには5サイクル(約2分)ごとに胸骨圧迫実施者を交代する。この時の蘇生法の中断時間は、5秒以内とする。

《2回目以降のAED自動解析》
初回の自動解析から2分ごとにAEDが自動解析を実施する。自動解析が開始されたらAEDの指示に従って蘇生法を中断、ショックまたは解析後ただちに蘇生法を再開する。

《心肺蘇生法》
患者が嫌がる動きをするか、救急隊に引き継ぐまで蘇生法を実施する。



回復体位
意識はないが、呼吸がしっかりしている患者にとる体位。体を横向きにする事で嘔吐による窒息を防止することができる。



AED本体

住宅火災から尊い命と財産を守るために!
まだ設置されていないご家庭は、早めに設置をお願いします。
設置に関する問い合わせ
消防本部 722 8111

住宅用火災警報器 **もしものための見張り番**

【新築住宅】
平成18年6月1日から設置
【既存住宅】
平成20年6月1日までに設置

火事を知らせる住宅用火災警報器等の設置が義務付けられました

種類 乙種4類
場所 県民活動総合センター
受付期間 9月18日(火)~10月5日(金)
申・問 消防本部 722 8111